

平成28年度
事業報告書

学校法人明照学園

目 次

- I 法人の概要
 - 1 法人の名称等
 - 2 建学の目的・精神・教育方針
 - 3 校名『樹徳』の由来
 - 4 学校の沿革
 - 5 設置する学校・学科等
 - 6 学校・学科等の生徒数の状況
 - 7 役員及び評議員の概要
 - 8 教職員の概要

- II 平成27年度事業報告(主要事項)
 - 1 法人（昭和26年3月8日認可）
 - 2 樹徳高等学校（昭和23年8月6日認可）
 - 3 樹徳中学校（平成13年3月29日認可）
 - 4 樹徳幼稚園（昭和28年6月6日認可）

- III 財務の概要
 - 1 決算の概要
 - (1) 資金収支計算書の状況
 - (2) 事業活動収支計算書の状況
 - (3) 貸借対照表の状況

- IV 財務分析経年比較

I 法人の概要

1 法人の名称等

- ・ 法人名称 学校法人 明照学園 (昭和26年3月8日認可)
- ・ 理事長名 野口 秀樹
- ・ 所在地 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号

2 建学の目的・精神・教育方針

明照学園は、教育基本法第1条の目的「教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国の育成を期して行われなければならない。」を踏まえ、仏教精神（宗教的情操）に基づき、日本国民である自覚と誇りを堅持し、国家・社会ひいては国際社会に奉仕し得る人間の育成を目的とする。

即ち、高い学問（知性）・技術の修得と、深い智慧と慈悲（徳性）、健康で強靱な体力精神力との調和ある人間育成に努めることを目的に設立された。

この為に、教職員は夫々の専門分野のたゆまぬ研鑽と、自らの人格陶冶（仏教精神）に努めなければならない。

創立の理念は仏教を基にした人間教育である。「自主独立」、自分の足で自分の人生を切り拓いていくことのできる人材の育成である。自己を見つめ、「私」へと続いてきた命の尊厳、今を生かす他力の存在、この不思議に感謝し、この喜びを体感する。大いなる他力をいただく我は、他のために生きる。これは世の摂理、バランスであり、そこに私の与えられた使命がある。

学校生活の中で祈る。この心を行動に！あらゆるものに感謝する。これを行動に！喜ぶ。この喜びを他のための行動に！心のひだを柔軟にさせる感動の多い学校生活を！「心即行」の実践者を育成したい。行いは心を成長させるものである。

人はいかにすぐれた師に出会い、よき教えに接したとしても、自分を律する者は自分以外にはない。自律心なき者は自主独立の人間とは言えないのである。心を練磨し、心をしっかり育ていく教育を実践していきたい。

- ① 仏教精神（宗教的情操）に基づく全人教育＝手を合わせる。
（智慧と慈悲との調和による、感謝のできる人間教育）
- ② 制服の三条の白線が意味するもの（篤敬三宝）
明るく (仏・・・智慧)
正しく (法・・・道徳)
仲良く (僧・・・共生)
- ③ 校名に託された教育の心
明照学園・・・・・・・・・・智慧の完成＝無明に光を（違いを知り・同じを知る）
明照大師（法然上人の大師号）
樹徳・・・・・・・・・・慈悲の完成
徳を樹つるは滋きに務め、悪を除くは本を務む。
- ④ 校是・・・・・・・・夢は大きく 根は深く（大樹深根・良樹細根）
- ⑤ 学習・・・・・・・・器に応じた授業
- ⑥ 生活指導の精神＝どのような生徒を育てたいか。
自分を大切にす生徒・・・・・・・・・・感謝
自分以外の人を大切にす生徒・・・・・・・・思いやり
社会に役立つ有用な生徒・・・・・・・・・・報恩

3 校名『樹徳』の由来

樹徳とは、徳を樹えることで、徳を身に樹てることである。わが身に徳を積みおさめることで、積善し悪を除いて成人することの意である。古くは、もと書経泰誓篇にある言葉である。

樹徳務滋除惡務本・・・・・・・・徳を樹つるは滋きを務め、悪を除くは本を務む・・・・・・・・と読む。

恩徳を人にしくのは、少し余計がよい。悪を除くには、根もとから除くがよい。除かなければ後の害をなすということである。

近くは、教育勅語の中に樹徳深厚・・・・・・・・徳を樹つることは深厚なりとある。

大正3年、創立に際して学校に命名したのは、山田郡長の直井三郎氏で、今日の樹徳高等学校の隆昌を予見された、輝かしい余徳に深甚の感謝を捧げるものである。

明照学園の明照は、明治天皇から法然上人に賜った明照大師号によるもので、因みに上人は、50年毎（6度にわたり）大師号下賜の榮に浴しておられる。

本校は、浄土門宗の学校で、校名としては明照の智による高い良識と質実剛健の行を一体とした伝統の中、たくましく日々怠らない厳然たる私学である。

4 学校の沿革

学校法人明照学園は、大正3年（1914年）桐生市本町6丁目、田中山浄運寺住職野口周善先生により創立された裁縫伝習所を母体とし、同年10月樹徳裁縫女学校として正式に認可を得、以来102年間輝かしい隆盛と充実の歴史を培ってきた。

現在、男子部、女子部ともに普通科最難関大学進学コース(男女共学)、同特別大学進学コース、同大学進学コース、同総合コースの7コースを置き、広沢町に附属樹徳幼稚園を併設している。

更に平成13年度には、中高一貫教育を実践するため隣接の稲荷町に樹徳中学校を開設する。

この学園に学ぶ者約1,500名、卒業生は約3万4千名を数え、地域社会への貢献も少なくないと自負するとともに、校名の語る高い良識と、明照の智慧による力強い個性的な生活を目指し、典雅な明るさをもって、質実剛健の輝かしい伝統の恵みの中で、たくましい努力を続けている。

年 度	事 項
大正 3年	4月 裁縫女学校として桐生新町(現在の本町5丁目)に創立 9月 本町6丁目に移転
大正 4年	4月 裁縫女学校第1回卒業式挙行
大正13年	樹徳裁縫女学校の設置科を群馬県に提出 本科(2年)、速成科(1年)、専攻科(6か月)、別科(年限を定めず)の4科に 洋服科(1年)、随意科(年限を定めず)を新設
昭和 2年	桐生市大字新宿稲荷塚1002番地(現在の錦町1丁目1番20号)に移転
昭和11年	女子セーラー服の併用開始
昭和14年	女子の制服をセーラー服に統一
昭和16年	財団法人樹徳高等裁縫女学校となる。
昭和21年	樹徳高等女学校と改称、女子部校歌制定
昭和22年	カスリーン台風新川大水害被災校舎流失
昭和25年	樹徳高等学校・同中学校と改称 別科2課程を併設 初代校長 野口周善先生遷化、 2代校長 野口健作先生就任
昭和26年	学校法人明照学園樹徳高等学校と改称 同窓会発足 初代会長に半田太子氏就任
昭和28年	学校後援会発足 初代会長に星野亀三郎氏就任 樹徳幼稚園を併設
昭和30年	講堂落成 奨学金給費制度発足
昭和32年	高等学校充実のため中学校廃止
昭和34年	4教室(第3校舎)建築 「明照の鐘」設置
昭和35年	男子部普通科、商業科の2課程を設置 男子部校歌制定 柔道演技第1回発表会
昭和37年	6教室(第4校舎)建築 女子部商業科設置 「樹妙だより」第1回発行
昭和38年	男子部第1回卒業式挙行 講堂増築 4教室(第6校舎)建築 柔道場(第6校舎内)改築
昭和39年	「樹妙」初版発行 8教室(第7校舎)建築 管理住宅建築 相生総合グラウンド設置
昭和40年	2教室(第5校舎学習室)増築
昭和41年	4教室(第3・第4校舎)増築

昭和42年	初代校長顕彰碑建立 梅田町字高沢に大滝山荘を設置 雨天体操場（第5校舎）増築 タイプ室（第6校舎）増築
昭和43年	合宿室を設置
昭和45年	商業実践室、計算実務室、被服実習室（第1校舎）改築開始 広沢町にグラウンド用地取得（現在の古庭の入球場）
昭和46年	浄土宗総本山知恩院、第1回全教職員練成宿泊実施 商業実践室、計算実務室、被服実習室及び コンピュータ富士通FACOM-230-10設置（第1校舎）完成
昭和47年	女子部普通科設置 公式野球部後援会発足 初代会長堀越至一郎氏就任
昭和48年	男子部情報処理科新設 広沢町に野球場「現在の古庭の入球場」新設 コンピュータ富士通FACOM-230-15設置（第1校舎） 第1回中学生柔道・卓球大会（招待試合）挙行（現在の月影杯）
昭和51年	生徒寮（天神寮）設置
昭和52年	2代校長 野口健策先生 群馬県功労者表彰受賞 特別進学コースとしてKクラス発足
昭和53年	2代校長 野口健策先生 藍綬褒章受章 天神寮を廃止し相生寮を開設 第4校舎新館建築
昭和54年	2代校長 野口健策先生遷化 3代校長 星野幸一先生就任 明照学園 樹徳高等学校服務規定制定 広沢野球場に合宿所新設
昭和55年	力誉健策校長顕彰記念樹徳高等学校技能優秀者表彰規定制定 樹の根の会発足 初代会長に小島一男氏就任 樹妙会（同窓会）、樹幹会（学校後援会）、樹の根の会（後援会OB会） 樹球会（野球部後援会）各会名命名
昭和56年	奨学生制度制定 相生寮を廃止し愛宕寮とする 幼稚園を広沢町古庭の入に移転
昭和57年	力誉健策校長顕彰記念館新築 浄運寺28世住職樹徳高等学校創立者 野口周善先生顕彰奨学生制度規定制定 「緑蔭讃歌」星野幸一先生御詠 生徒生活日誌「やわらぎ」作成・使用開始 第1回群馬県私学教員海外教育事情視察開始、参加 「樹幹だより（学校後援会新聞）」第1号発行
昭和58年	文化祭（樹徳慈善バザー）を月影祭と名称変更 「あかぎ国体」を記念し市街地清掃奉仕開始
昭和59年	第1回緑蔭祭（歴代校長、職員、生徒関係、カスリーン台風新川大水害被災物故者慰霊祭）挙行 職員服務規定制定、諸規定集編纂
昭和60年	第1回生徒海外研修（ホームステイ）実施
昭和61年	正道館建築、本町6丁目2階建駐輪場建築 川内町にベジタブルセンター設置 樹幹会（協力店会）発足 初代会長に白砂一男氏就任
昭和62年	K1を文系、K2を理系コースとして充実を図る 第1回校内合掌コンクール実施
昭和63年	セミナーセンター設置 第1回月影杯剣道大会（招待試合）挙行 男子部 愛宕寮を全面取得して学習合宿所として開設
平成 元年	渡良瀬川河川敷グラウンド設置 女子情報処理コース新設 コンピュータ室新設、大型コンピュータ導入 稲荷町駐車場新設（現樹徳中学校地）
平成 2年	セミナーセンター完成 第1回月影杯剣道大会（招待試合）挙行 女子部 女子情報処理科設置

	学園敷地全面取得 相撲部県総体6年連続10回目の優勝 在籍生徒2,700名を超える
平成 3年	硬式野球部全国高等学校野球選手権大会(甲子園)出場 稲荷町駐車場拡張 進学コースとしてSクラス設置
平成 4年	広沢野球場拡張整備「古庭の入球場」と命名 3代校長 星野幸一先生 群馬県私立中学・高等学校協会第6代会長に就任 群馬県私学厚生協会第6代理事長に就任 群馬県私学振興会副理事長に就任 群馬県私立学校審議会委員に就任 日本私立中学高等学校連合会常任理事に就任 群馬県総合表彰受賞
平成 6年	硬式野球部全国高等学校野球選手権大会(甲子園)2年連続出場 芸術作品鑑賞室「美の部屋」完成 セミナーセンター茶室完成
平成 7年	創立80周年記念式典(11月15日) ベジタブルセンター相生町に移転 梅田町大滝山荘に研修館完成
平成 8年	3代校長 星野幸一先生 群馬県功労者表彰受賞 男子部情報商業科、女子部情報商業科を新設
平成 9年	3代校長 星野幸一先生 私学教育振興功労者文部大臣表彰受賞 錦町駐車場用地取得
平成10年	普通科総合コースをJ組と改称
平成11年	錦町駐車場拡張
平成12年	学校週5日制を実施、土曜講座開設 相生町5丁目にグラウンド用地取得 新宿2丁目に校地取得
平成13年	樹徳中学校を開設、稲荷町4番12号に中学校校舎建築、中高一貫教育を開始 中学校初代校長 野口秀樹先生就任 相生第2総合グラウンド設置
平成14年	相撲部群馬県総合体育大会20回優勝による「特別優秀学校」受賞 卓球部群馬県総合体育大会10年連続優勝による「優秀学校」受賞 浜松町2丁目に校地取得
平成15年	家庭科・情報商業科を2年次からのコース制に移行、普通科のみの募集となる。 ラグビー部全国高等学校ラグビーフットボール大会(花園)出場
平成16年	中高一貫高等部校舎建築 3代校長 星野幸一先生 瑞宝小授章受章 群馬県私学振興会理事長に就任
平成17年	創立90周年記念式典(11月5日) 家庭科・情報処理科廃止
平成18年	普通科SK(スーパーケイ)コース設置 錦町1丁目(999番1号他)新川通校地拡張用地取得(2,776㎡)
平成19年	中高一貫高等部第1期生卒業(3月1日) 梅田町大滝山荘 学校用地(道路敷)購入完了
平成20年	SKコースをSS(スーパーサイエンス)コースに改称
平成21年	錦町1丁目(989番19号他)駐車場設置
平成22年	広沢グラウンド(古庭の入球場)内、学校用地(道路敷)購入完了 広沢グラウンド(古庭の入球場)内にトレーニングルーム新設・システムマシン設置 錦町新川通校地拡張用地取得
平成24年	稲荷町(樹徳中学校東側隣接地)学校用地取得 中学校長 野口秀樹先生 群馬県私立中学・高等学校協会会長に就任 明照学園理事長 野口秀樹先生 藍綬褒章受章 公益財団法人群馬県私学振興会副理事長に就任
平成25年	樹徳コミュニティーセンター「み法(のり)」完成 3代校長 星野幸一先生 勇退(25.3.31) 4代校長 野口秀樹先生就任(25.4.1) 力誉記念館1階・3階を改築、教室7部屋増設、女子トイレ改装(26.1.9完成) 正道館1階を改築、理科室2部屋を設置

平成26年	第3・第4校舎取り壊し(26.3終了) 高等学校入学定員を460名に変更 創立100周年記念事業 女子の制服を変更(平成26年度入学生より) 新校舎立志館竣工(26.10.17) 正道館のトイレを全面改修 第1、2、5、7校舎及びセミナーセンター取り壊し 創立100周年記念委嘱作品「アカシアの樹」を作曲家広瀬勇夫氏により作曲 明照学園のロゴマーク、シンボルマーク完成(27.1)
平成27年	ミャンマーにマイトリー基金による学校建設・開校 明照体育館完成(27.4) 創立100周年記念式典(5.23) 明照学園理事長 野口秀樹先生 群馬県功労者表彰受賞 卒業記念品 JTKオリジナルネクタイ・スカーフを作成
平成28年	新校章ロゴマークの校旗・応援旗・部旗完成
平成29年	男女共学に変更(平成29年度入学生より) 男子の制服を変更(平成29年度入学生より)

5 設置する学校・学科等

(平成28年5月1日現在)

設置する学校	開校年月日	学科等	所在地
樹徳高等学校	大正3年4月	全日制	〒376-0023
校長：野口秀樹	S23.8.6 認可	普通科	桐生市錦町一丁目1番20号
樹徳中学校	平成13年4月		〒376-0022
校長：野口秀樹	H13.3.29 認可		桐生市稲荷町4-12
樹徳幼稚園	昭和26年4月		〒376-0013
園長：瀬谷茂	S28.6.6 認可		桐生市広沢町三丁目4475

6 学校・学科等の生徒数の状況

(平成28年5月1日現在)

学校名		入学定員		収容定員	在籍者数	備考
樹徳高等学校	普通科	男	280	840	795	
		女	180	540	521	
樹徳中学校			60	180	120	
樹徳幼稚園				120	43	

7 役員及び評議員の概要

(1) 役員

(平成28年5月1日現在)

役職名	氏名	寄付行為選任区分	備考
理事長	野口 秀樹	第5条第1項	常勤、中学・高等学校長
理事	岸 芳正	第5条第3項	非常勤
理事	野口 善教	第5条第2項	非常勤
理事	阿部 高久	第5条第3項	非常勤
理事	星野 榮助	第5条第2項	非常勤
監事	高村 利久	第7条	非常勤
監事	山口 正夫	第7条	非常勤

(2) 評議員

(平成28年5月1日現在)

氏名	寄付行為選任区分	職	備考
野口 秀樹	第21条第1項	中学・高等学校長	
瀬谷 茂	第21条第1項	幼稚園長	
田代 文衛	第21条第2項	事務長	
丸山 晴子	第21条第3項	同窓会長(女子部)	
杉戸 健二	第21条第4項	後援会長(保護者)	(H27.12.14選任)
野口 善教	第21条第5項	学識経験者	

阿部 高久	第21条第5項	学識経験者	
星野 榮助	第21条第5項	学識経験者	
野口 幹子	第21条第5項	学識経験者	
小倉 康宏	第21条第5項	学識経験者	
岸 芳正	第21条第6項	理事	

8 教職員の概要

(平成28年5月1日現在)

(単位：人)

区分		高等学校	中学校	幼稚園	計
教育職員	本務	74 (12)	18 (4)	6 (5)	98 (21)
	兼務	27 (13)	4 (2)		31 (15)
職員	本務	20 (9)	3 (0)	2 (0)	25 (9)
	兼務	6 (4)	1 (1)	2 (1)	9 (6)
計		127 (38)	26 (7)	10 (6)	163 (51)

II 事業の概要(主要事項)

1 法人

(1) 理事会の開催状況

- ① 平成28年5月26日(理事5人中5人出席)
 - ・ 第1号議案 評議員の選任について
 - ・ 第2号議案 平成27年度事業報告の承認について
 - ・ 第3号議案 平成27年度収支決算の承認について
 - ・ 第4号議案 樹徳高等学校学則の一部改正について
- ② 平成28年12月14日(理事4人中3人出席)
 - ・ H28年度中間事業報告について
 - ・ 育児・介護休業等に関する規則の改正について
- ③ 平成29年3月14日(理事4人中4人出席)
 - ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正について
 - ・ 第2号議案 樹徳中学校学則の一部改正について
 - ・ 第3号議案 平成29年度事業計画の承認について
 - ・ 第4号議案 平成29年度収支予算の承認について
 - ・ 第5号議案 明照学園樹徳高等学校服務規定の全部改正について
 - ・ 第6号議案 明照学園樹徳高等学校における学校徴収金の取扱規程の制定について

(2) 評議員会の開催状況

- ① 平成28年5月26日(評議員10人中10人出席)
 - ・ 第1号議案 評議員の選任について
 - ・ 第2号議案 平成27年度事業報告の承認について
 - ・ 第3号議案 平成27年度収支決算の承認について
 - ・ 第4号議案 樹徳高等学校学則の一部改正について
- ② 平成28年12月14日(評議員10人中10人出席)
 - ・ H28年度中間事業報告について
 - ・ 育児・介護休業等に関する規則の改正について
- ③ 平成29年3月14日(評議員10人中9人出席)
 - ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正について
 - ・ 第2号議案 樹徳中学校学則の一部改正について
 - ・ 第3号議案 平成29年度事業計画の承認について
 - ・ 第4号議案 平成29年度収支予算の承認について
 - ・ 第5号議案 明照学園樹徳高等学校服務規定の全部改正について
 - ・ 第6号議案 明照学園樹徳高等学校における学校徴収金の取扱規程の制定について

2 樹徳高等学校

(1) 平成28年度 教育・指導目標

教育方針の理解を徹底し、特に次の事項に重点をおいて指導

- ① 出席率の向上
- ② 挨拶の励行
- ③ 学力の向上
- ④ 各種検定合格率の向上
- ⑤ 運動部の強化

生徒重点指導事項

- ① 挨拶の励行……明るく元気に
- ② 清掃……美しい校舎・きれいな教室・花の在る生活

(2) 生徒の状況

平成28年度の入学生は、一貫校中等部からの内部入学を含め入学定員460人の98.7%の454人であり、

前年度478人に対して24人減少した。

平成28年5月1日現在の生徒数は前年度比86人増の1,316人となり収容定員1,380人に対し95.4%の充足
平成27年度入学状況・生徒数

	入学状況				在籍生徒数(H28.5.1現在)			
	定員	志願者	入学者	一貫校	1学年	2学年	3学年	計
					14クラス	14クラス	13クラス	41クラス
男	280	2,537	251	17	268	285	242	795
女	180	1,993	161	25	186	184	151	521

計	460	4,530	412	42	454	469	393	1,316
---	-----	-------	-----	----	-----	-----	-----	-------

(3) 奨学生の状況

学業優秀者及びスポーツ優秀者等の意欲ある生徒を確保し、学園の活性化に努めた。

(平成28年度 人)

奨学生区分	SA	A		B		C		兄弟姉妹	計
		学業	スポーツ	学業	スポーツ	学業	スポーツ		
H28入学者	13	6	14	8	10	12	6		69
在籍者計	44	11	59	29	40	36	18	38	275

(4) 卒業者の進路状況

前年に比べ卒業者数の43人増に対し、大学進学者は25人(県内20人、県外5人:国公立5人、私立20人)の

(平成28年度末 人)

		人数	内訳	
進学者	大学学部	182	県内 55	県外 127
	短期大学	13	国公立 24	私立 158
	専修学校	78	県内 8	県外 5
	各種学校	25		
	公共職業能力開発施設	4		
就職	就職者	87	男子 57	女子 30
	各種学校進学者の内職者	(0)		
	その他	1		
	合計	390		

(5) 施設設備の整備状況

- ・ 入学者数の増加に対応するため、生徒用机、椅子を整備した。
- ・ 入学試験事務用のシステム及び機器の更新整備を行った。
- ・ 学校法人会計基準の改定に伴い、財務会計システムの更新整備を行った。

3 樹徳中学校

(1) 生徒の状況

平成28年度入学状況・生徒数

	入学状況				在籍生徒数(H28.5.1現在)			
	定員	志願者	入学者	一貫校 進級者	1学年 クラス	2学年 クラス	3学年 クラス	計 クラス
男	60	26	19	16	16	24	24	64
女		35	27	22	22	18	16	56
計		61	46	38	38	42	40	120

(2) 施設設備の整備状況

- ・ 教員用PCの不足分を購入した。。

4 樹徳幼稚園

(1) 園児の状況

平成28年度在園園児数

(平成28年5月1日現在)

学年	組				桐生市	みどり市	太田市	伊勢崎市 他
		男	女	計				
3歳未満 年少組	もも組	5		5	9	3		3
		5	5	10				
年中組	さくら組	8	5	13	9	3	1	
年長組	たけ組	5	10	15	11	1	2	1
合計	3組	23	20	43	29	7	3	4

(2) 課外活動の状況

- ・ 預かり保育推進事業の実施
保育時間外や長期休業中に預かり保育を行った。
通常保育日数(開園日2時間以上の保育) 195日
長期休業日(1日4時間以上の保育) 28日(夏季20日、冬季3日、春季5日)

(3) 施設・設備の充実

- ・ 園児用及び職員用のトイレの改修を行った。

III 財務の概要

1 決算の概要

(1) 資金収支計算書の状況

収入については、学生生徒納付金収入、補助金収入、受取利息・配当金収入及び前受金収入等が増加したが、前年度繰越支払資金及び資金収入調整勘定等が減少したことで、予算に対して26,962,061円減の25,47,333,939円となった。
また、支出については、教育研究費支出及び施設関係支出等が減少したが、資産運用支出及びその他支出等が増加したことにより、「翌年度繰越支払資金」は予算に対し199,607,536円減の436,122,464円となった。

(単位:円)

科 目		平成28年度			前年度対比	
		予 算 額	決 算 額	差 異	前年度決算額	比 率
収入の部	学生生徒等納付金収入	577,783,000	593,542,710	▲ 15,759,710	565,289,360	105.00%
	手数料収入	54,150,000	56,157,570	▲ 2,007,570	55,204,965	101.73%
	寄付金収入	23,486,000	23,250,286	235,714	107,656,057	21.60%
	補助金収入	530,172,000	564,933,050	▲ 34,761,050	536,254,649	105.35%
	付随事業・収益事業収入	11,416,000	18,607,306	▲ 7,191,306	18,586,152	100.11%
	受取利息・配当金収入	34,338,000	52,979,266	▲ 18,641,266	54,062,883	98.00%
	雑収入	29,088,000	36,782,100	▲ 7,694,100	103,187,900	35.65%
	前受金収入	90,156,000	108,810,000	▲ 18,654,000	99,320,000	109.55%
	その他の収入	704,613,000	700,194,561	4,418,439	1,506,783,080	46.47%
	資金収入調整勘定	▲ 114,750,000	▲ 134,585,195	19,835,195	▲ 196,756,795	68.40%
	前年度繰越支払資金	633,844,000	526,662,285	107,181,715	503,079,493	104.69%
	収入の部合計	2,574,296,000	2,547,333,939	26,962,061	3,352,667,744	75.98%
支出の部	人件費支出	899,440,000	898,214,766	1,225,234	929,059,741	96.68%
	教育研究経費支出	214,351,000	176,914,650	37,436,350	380,741,652	46.47%
	管理経費支出	54,412,000	50,899,300	3,512,700	50,762,346	100.27%
	施設関係支出	50,000,000	25,900,000	24,100,000	721,190,631	3.59%
	設備関係支出	12,760,000	17,466,037	▲ 4,706,037	24,274,739	71.95%
	資産運用支出	215,600,000	401,567,590	▲ 185,967,590	253,063,062	158.68%
	その他の支出	515,833,000	581,682,165	▲ 65,849,165	556,226,694	104.58%
	予備費	14,920,000	0	14,920,000	0	
	資金支出調整勘定支出	▲ 38,750,000	▲ 41,433,033	2,683,033	▲ 89,313,406	46.39%
	次年度繰越支払資金	635,730,000	436,122,464	199,607,536	526,662,285	82.81%
	支出の部合計	2,574,296,000	2,547,333,939	26,962,061	3,352,667,744	75.98%

【収入の部】

- ・ 「学生生徒等納付金収入」の増は、高校授業料の改定対象学年拡大と生徒数増によるものである。
- ・ 「寄付金収入」の減は、前年が学校創立100周年記念事業実施に関連する寄付等が多額であったことによる。
- ・ 「補助金収入」は、県の私学振興費補助金等であり、前年度対比増は、高校の生徒数増によるものである。
- ・ 「雑収入」は、県私学振興会からの退職金収入等である。
- ・ 「前受金収入」は、29年度入学生の入学金及び設備費である。
- ・ 「その他の収入」は、引当特定資産からの繰入と預り金等である。

【支出の部】

- ・ 「人件費支出」の前年度対比減は、職員退職金の減によるものである。
- ・ 「教育研究経費支出」の減は、前年の建設仮勘定から修繕費への振替が大きかったことによるものである。
- ・ 「施設関係支出」の減は、前年が100周年記念事業経費の支払いが大きかったことによる。
- ・ 「設備関係支出」は、入学者数増に対応するための生徒用机・椅子の備品購入等である。
- ・ 「資産運用支出」は、引当特定資産への繰入支出によるものである。

(2) 事業活動収支計算書の状況

平成28年度の事業活動収入は予算に対して85,635,488円増の1,346,068,488円、事業活動支出は予算に対して8,769,812円減の1,317,953,188円で基本金組入前当年度収支差額は28,115,300円の収入超過となった。
また、当期基本金組入額合計は、32,493,225円で基本金組入後の当期収支差額は4,377,925円の支出超過となった。
これに前年度繰越収入超過額の839,918,398円を加え、「翌年度繰越収入超過額」は835,540,473円となった。

(単位:円)

科 目		平成28年度			前年度対比	
		予 算 額	決 算 額	差 異	前年度決算額	比 率
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	577,783,000	593,542,710	▲ 15,759,710	565,289,360	105.00%
	手数料	54,150,000	56,157,570	▲ 2,007,570	55,204,965	101.73%
	寄付金	23,486,000	23,250,286	235,714	107,656,057	21.60%
	経常費等補助金	530,172,000	564,933,050	▲ 34,761,050	536,254,649	105.35%
	付随事業収入	11,416,000	18,423,506	▲ 7,007,506	18,849,952	97.74%
	雑収入	29,088,000	36,782,100	▲ 7,694,100	103,187,900	35.65%
	教育活動収入計	1,226,095,000	1,293,089,222	▲ 66,994,222	1,386,442,883	93.27%
	事業活動支出の部	人件費	899,440,000	898,214,766	1,225,234	929,059,741
教育研究費	299,351,000	331,981,705	▲ 32,630,705	535,195,158	62.03%	
管理経費	153,012,000	87,654,500	65,357,500	64,999,517	134.85%	
徴収不能額	0	102,217	▲ 102,217	169,941	60.15%	
教育活動支出計	1,351,803,000	1,317,953,188	33,849,812	1,529,424,357	86.17%	
教育活動収支差額	▲ 125,708,000	▲ 24,863,966	▲ 100,844,034	▲ 142,981,474	17.39%	
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年度対比		
				前年度決算額	比 率	

教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	34,338,000	52,979,266	▲ 18,641,266	54,062,883	98.00%
		教育活動外収入計	34,338,000	52,979,266	▲ 18,641,266	54,062,883	98.00%
		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年度対比	
					前年度決算額	比 率	
	事業活動支出の部						
		教育活動外支出計	0	0	0	0	
教育活動外収支差額		34,338,000	52,979,266	▲ 18,641,266	54,062,883	98.00%	
経常収支差額		▲ 91,370,000	28,115,300	▲ 119,485,300	▲ 88,918,591	-31.62%	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年度対比	
						前年度決算額	比 率
		特別収入計	0	0	0	0	
	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年度対比	
						前年度決算額	比 率
		特別支出計	0	0	0	265,914	0.00%
		特別収支差額	0	0	0	▲ 265,914	0.00%
		[予備費]	14,920,000		14,920,000		
		基本金組入前当年度収支差額	▲ 106,290,000	28,115,300	▲ 134,405,300	▲ 89,184,505	-31.52%
		基本金組入額合計	▲ 82,600,000	▲ 32,493,225	▲ 50,106,775	0	
		当年度収支差額	▲ 188,890,000	▲ 4,377,925	▲ 184,512,075	▲ 89,184,505	4.91%
	前年度繰越収支差額	839,918,000	839,918,398	▲ 398	716,317,640	117.26%	
	基本金取崩額	0	0	0	212,785,263	0.00%	
	翌年度繰越収支差額	651,028,000	835,540,473	▲ 184,512,473	839,918,398	99.48%	
(参考)							
	事業活動収入計	1,260,433,000	1,346,068,488	▲ 85,635,488	1,440,505,766	93.44%	
	事業活動支出計	1,366,723,000	1,317,953,188	48,769,812	1,529,690,271	86.16%	

【教育活動収支】

- ・ 教育活動収支は、教育研究活動にかかる収入・支出を区分するものである。
- ・ 「教育研究経費」は、資金収支計算書の金額に減価償却額を加算している。
- ・ 「管理経費」は、資金収支計算書の金額に減価償却額を加算している。
- ・ その他の収支各科目は資金収支計算書の収支の部の金額と同額である。

【教育活動外収支】

- ・ 教育活動外収支は、経常的な収支のうち、財務活動に係る収入・支出を区分するものである。
- ・ 「受取利息・配当金収入」は、資金収支計算書の収入の部の金額と同額である。

【特別収支】

- ・ 特別収支は、資産売却・処分、施設設備に関する補助金等の臨時的な収入・支出を区分するものである。
- ・ 平成28年度は該当する者はない。

(3) 貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額の学校法人の財政状態を示すものである。

平成29年3月31日 (単位：円)

資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	10,741,049,450	10,655,041,805	86,007,645	
有形固定資産	7,720,502,837	7,872,148,225	▲ 151,645,388	
特定資産	2,997,302,893	2,762,839,030	234,463,863	
その他の固定資産	23,243,720	20,054,550	3,189,170	
流動資産	591,336,749	687,556,124	▲ 96,219,375	
資産の部合計	11,332,386,199	11,342,597,929	▲ 10,211,730	
負債の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	0	0	0	
流動負債	295,897,857	334,224,887	▲ 38,327,030	
負債の部合計	295,897,857	334,224,887	▲ 38,327,030	
純資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
基本金	10,200,947,869	10,168,454,644	32,493,225	
繰越収支差額	835,540,473	839,918,398	▲ 4,377,925	
翌年度繰越収支差額	835,540,473	839,918,398	▲ 4,377,925	
純資産の部合計	11,036,488,342	11,008,373,042	28,115,300	
負債及び純資産の部合計	11,332,386,199	11,342,597,929	▲ 10,211,730	

【資産の部】

- ・「有形固定資産」は、幼稚園のトイレ改修や中学校・高等学校における教育研究用備品の取得等資産の増加はあったが、建物等の償却、教育研究及び管理用機器備品等の除却を行い、151,645,388円減少し、7,720,502,837円となった。
- ・「特定資産」は、減価償却、施設拡充引当特定資産等の増加により234,463,863円増加し、2,997,302,893円となった。
- ・「その他固定資産」では入試等業務システムの更新等により3,189,170円増加し、23,243,720円となった。
- ・「固定資産」全体では、51,289,605円増加し、10,741,049,450円となった。
- ・「流動資産」は、有価証券の増はあったが、現金預金及び未収入金の減により38,327,030円の減少となった
- ・以上の結果、総資産は、前年度末に比較して、10,211,730円減少し、11,332,386,199円となった。

【負債の部】

- ・「固定負債」は該当なし。
- ・「流動負債」は、前受金の増加はあったが、未払金の減少により、38,327,030円減少し、295,897,857円となった。

【純資産の部】

- ・「基本金」は、第1号基本金の組入れが行われた結果、合計では32,493,225円増加し、10,200,947,869円となった。
- ・「繰越収支差額」は、4,377,925円の支出超過となり、前年度繰越収支差額の839,918,398円と合わせて、翌年度繰越収支差額は835,540,473円となった
- ・この結果、純資産「正味財産」は、前年度末に比較し28,115,300円増加し、本年度末11,036,488,342円となった。

財務分析経年比較

区分	財務分析比率	評価	H24	H25	H26	H27	H28
貸借対照表	固定資産構成比率	低い値が良い	94.60%	94.24%	94.40%	93.94%	94.78%
	有形固定資産構成比率	低い値が良い	54.55%	58.19%	64.00%	69.40%	68.13%
	特定資産資産構成比率	高い値が良い	40.05%	36.05%	30.40%	24.53%	26.45%
	流動資産構成比率	高い値が良い	5.40%	5.76%	5.60%	6.06%	5.22%
	固定負債構成比率	低い値が良い	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	流動負債構成比率	低い値が良い	2.36%	1.88%	2.63%	2.95%	2.61%
	内部留保資産比率	高い値が良い	43.09%	39.92%	33.37%	27.65%	27.69%
	運用資産余裕比率	高い値が良い	402.62%	359.42%	387.41%	218.05%	246.32%
	純資産構成比率	高い値が良い	97.64%	98.12%	97.37%	97.05%	97.39%
	繰越収支差額構成比率	高い値が良い	22.62%	10.79%	6.28%	7.40%	7.37%
	固定比率	低い値が良い	96.89%	96.05%	96.96%	96.79%	97.32%
	固定長期適合率	低い値が良い	96.89%	96.05%	96.96%	96.79%	97.32%
	流動比率	高い値が良い	228.72%	306.00%	212.56%	205.72%	199.84%
	総負債比率	低い値が良い	2.36%	1.88%	2.63%	2.95%	2.61%
	負債比率	低い値が良い	2.42%	1.92%	2.70%	3.04%	2.68%
	前受金保有率	高い値が良い	760.10%	726.46%	494.86%	530.27%	400.81%
	基本金比率	100%が望ましい					100.00%
	減価償却比率	どちらともいえない	8.45%	8.32%	10.71%	11.03%	18.16%
	積立率	高い値が望ましい					139.91%
	事業活動収支計算書	人件費比率	低い値が良い	70.53%	78.04%	66.45%	64.50%
人件費依存率		低い値が良い	162.90%	183.05%	167.03%	164.35%	151.33%
教育研究経費比率		どちらともいえない	24.28%	21.57%	20.38%	37.15%	24.66%
管理経費比率		どちらともいえない	5.53%	5.41%	4.91%	4.51%	6.51%
借入金等利息比率		低い値が良い	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
事業活動収支差額比率		高い値が良い	-0.36%	-8.83%	20.95%	-6.19%	2.09%
基本金組入後収支比率		低い値が良い	108.36%	-1884.16%	160.65%	106.19%	100.33%
学生生徒等納付金比率		どちらともいえない	43.30%	42.63%	39.78%	39.24%	44.09%
寄付金比率		高い値が良い	1.85%	1.78%	1.63%	7.47%	1.73%
経常寄付金比率		高い値が良い					1.73%
補助金比率		高い値が良い	42.68%	43.19%	42.67%	37.23%	41.97%
経常補助金比率		高い値が良い					41.97%
基本金組入率		高い値が良い	7.38%	105.78%	38.16%	0.00%	2.41%
減価償却費比率		どちらともいえない	8.45%	8.32%	10.71%	11.03%	14.55%
経常収支差額比率		プラスが望ましい					2.09%
教育活動収支差額比率		プラスが望ましい					1.92%
教育活動資金収支差額比率		プラスが望ましい					14.43%